

報道関係各位

2016年8月8日

特定非営利活動法人キャンサーネットジャパン

がんに対する治験・臨床試験に関する がん患者（家族）・医師（医療者）・一般市民他 2,012 名に対する 意識調査結果を発表

特定非営利活動法人キャンサーネットジャパンは、がん患者（家族）・医師（医療者）・一般市民を対象とした意識調査を実施し、その結果を神戸で開催された第14回日本臨床腫瘍学会学術集会Patient Advocate Program（7月29日）、及び東京・日本橋で開催されたJapan Cancer Forum（8月6日）で発表しました。

本調査は、NPO法人キャンサーネットジャパンを主体に計画され、がん情報サイト『オンコロ』、西日本がん研究機構（WJOG）、一般社団法人日本臨床試験学会、第14回日本臨床腫瘍学会学術集会の協力を得て、集計・解析には中央大学理工学部生物統計学研究室（大橋 靖雄教授）により実施されました。

本調査の背景には、これまで一般に臨床試験（治験）に関しては人体実験であるなどネガティブな認識が想定されていたこと、近年がん領域以外において臨床試験（治験）における不正などが報道されてきた経緯も踏まえ、がんに特化した大規模な意識調査はなく、今回、がん患者（家族）・医師（医療者）・一般市民、あらゆる立場の方を対象に意識調査を実施しました。

2,012名の回答を得て、患者（家族）の回答が52%、医師を含む医療者が20%、また治験・臨床試験に関わり製薬企業・治験コーディネーターなどが13%、一般市民15%の内訳でした。本調査結果から、がんの治験・臨床試験に対し、以下の3つの重要な点が浮き彫りとなりました。

1. 医師・患者・一般いずれの立場においても、がんに対する臨床試験（治験）に関する情報を知りたいニーズ（がんに対する臨床試験（治験）の情報を欲しいと思う）が高い
2. 医師・患者においてがんに対する臨床試験（治験）の情報公開の必要性の認識が高い
3. がんの臨床試験（治験）への患者参画（実施計画やその評価）に対して、医師、患者におけるその必要性の認識が高い

その他、意識調査のまとめはNPO法人キャンサーネットジャパンのホームページにて公開いたします。

NPO法人キャンサーネットジャパンウェブサイトURL：<http://www.cancernet.jp/>

また、自由記載を含めた定性調査のまとめについては、調査協力機関であるがん情報サイト「オンコロ」にて後日公開いたします。

がん情報サイト『オンコロ』ウェブサイト URL：<https://oncolo.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

NPO 法人キャンサーネットジャパン 担当:柳澤 昭浩

Tel. 03-5840-6072 / Fax. 03-5840-6073 / e-mail: info@cancernet.jp

がんの臨床試験（治験）に関する 意識調査

第14回日本臨床腫瘍学会学術集会（2017年7月29日）
＜特別シンポジウム＞ がん医療の進歩のためにできること

Japan Cancer Forum（2017年8月6日）
臨床試験調査結果発表 日本の臨床試験の何が問題？

調査概要

【調査背景】

臨床試験（治験）が円滑に進まない要因の一つとして被験者不足があげられます。しかし、がんの臨床試験への参加を希望する患者は決して少ないわけではありません。

このような一見矛盾したような状況になる原因としては、クライテリアの複雑化、臨床試験情報や治験啓発が不足している、実施制度や各関連機関の事情等、様々な要因が重なり合っている事が推測されます。

【調査目的】

上記の背景のような、患者が治験に参加しにくい現状をうけて、がんの臨床試験（治験）について医師、患者、家族、製薬企業等、それぞれの立場の方がどのような意識を持っているのかを調査することにより、立場による認識の違いを確認し、臨床試験を円滑に進めるうえでの課題解決の一助とすることを目的としています。

調査概要

実施期間：2016年5月10日～6月9日

対象者：全ての方

総回答数：2,012

調査方法：インターネットアンケート

実施：NPO法人キャンサーネットジャパン

調査協力：

- ・がん情報サイト『オンコロ』
- ・西日本がん研究機構（WJOG）
- ・第14回日本臨床腫瘍学会学術集会
- ・一般社団法人 日本臨床試験学会
- ・中央大学理工学部 生物統計学研究室

質問一覧①

Q1.アンケート説明

Q2.あなたの年代を教えてください。

Q3.あなたの性別を教えてください。

Q4.あなたはがんの臨床試験（治験）に関わったことがありますか。

※被験者になった、業務に携わったなど

Q.5あなたの立場として当てはまるものを全て選んでください。

Q6.あなたの勤務形態を教えてください。

Q7.以下の中で経験があることを全て選んでください。

Q8.あなたのがんの種類を教えてください。

Q9.あなたの診断時のがんの病期（ステージ）を教えてください。

Q10.あなたの周囲でがんの診断を受けた方はいますか。当てはまる方を全て教えてください。

質問一覧②

Q11.あなたは普段「がんに関する情報」をどのくらいの間隔でご覧になられていますか。

Q12がんの臨床試験（治験）についてあなたのイメージを教えてください。

- ・「人体実験である」
- ・「治験は必要なことである」
- ・「社会貢献性がある」
- ・「安全性に不安がある」
- ・「最先端の治療が受けられる」
- ・「治療費の負担を軽減できる」
- ・「プラセボ（偽薬）が不安である」
- ・「最終的な治療手段である」
- ・「治療選択肢の一つである」

質問一覧③

Q13.あなたはがんの臨床試験（治験）の情報を欲しいと思いますか。

Q14.そう思う理由を教えてください。

Q15.あなた自身ががんに罹患した場合、臨床試験（治験）の情報を欲しいと思いますか。

Q16.そう思う理由を教えてください。

Q17.がんの臨床試験（治験）情報はどのタイミングで欲しいですか。

Q18.そう思う理由を教えてください。

Q19.あなたはがんの患者に臨床試験（治験）の情報提供をすることは必要だと思いますか。

Q20.どのタイミングでがんの患者に臨床試験（治験）の情報をすべきだと思いますか。

質問一覧④

Q21.患者さんへの臨床試験（治験）の情報提供についてそのように考える理由を教えてください。

Q22.臨床試験（治験）に関する情報で広く一般的に公開するべきかについてあなたの考えを教えてください。

Q23.臨床試験（治験）に関する情報の公開についてご意見があればご記入をお願いします。

Q24.臨床試験（治験）情報の発信はどこが行うのが良いと思いますか。当てはまるものを全て選んでください。

Q25.「その他」についてはこちらにご記入ください。

Q26.そう思う理由を教えてください。

質問一覧⑤

Q27.現在の日本の臨床試験（治験）は世界的に見て進んでいると思いますか。

Q28.海外では臨床試験（治験）の実施計画や試験の評価において患者が参加する試みがなされています。日本でもそのような患者参加の取り組みは必要だと思いますか。

Q29.そう思う理由を教えてください。

Q30.がんの臨床試験（治験）の情報をどこで得ていますか。当てはまるものを全て選んでください。（複数選択可）

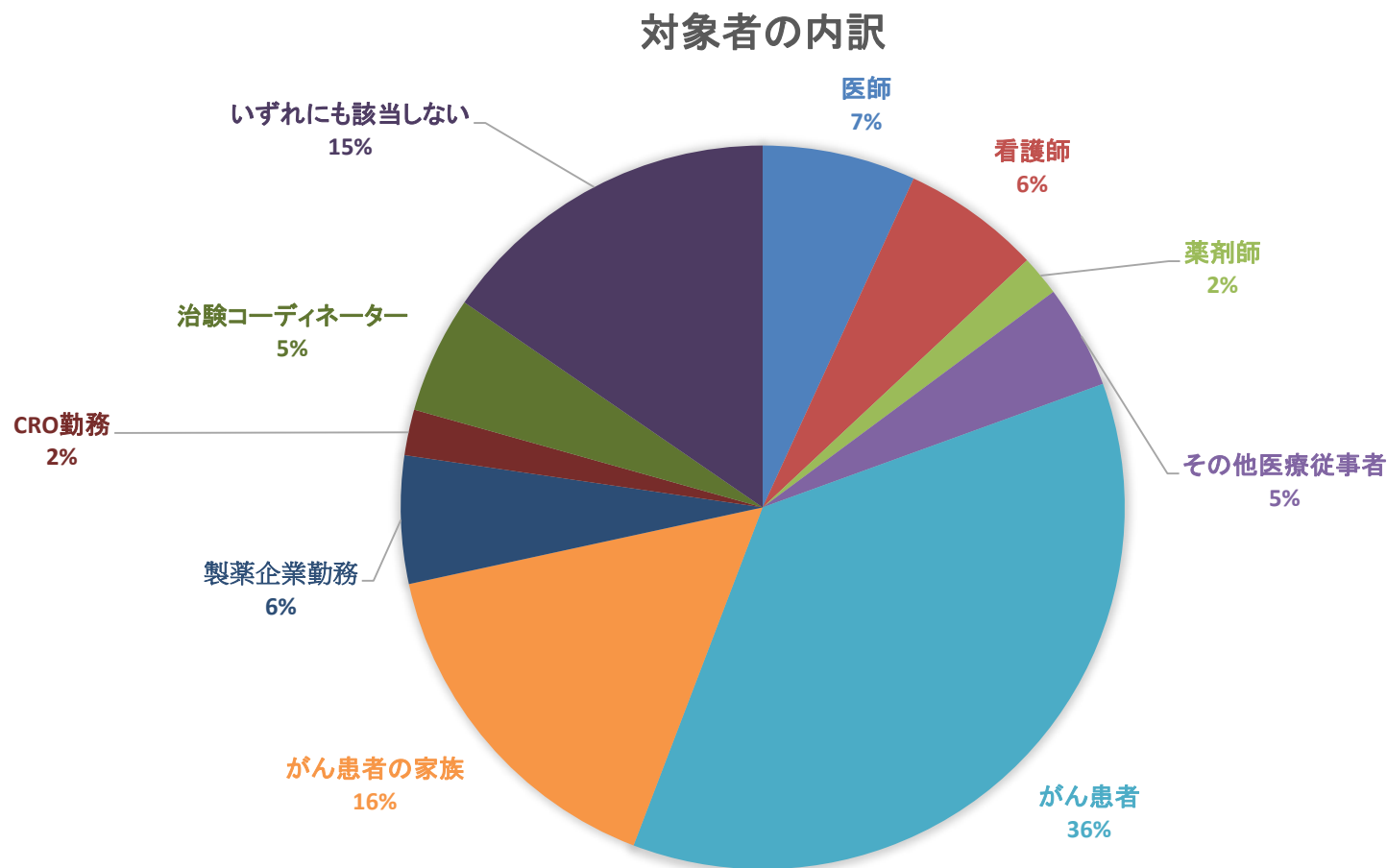
医師

Q31.「その他」についてはこちらにご記入ください。

Q32.これが最後の質問になります。

調査結果

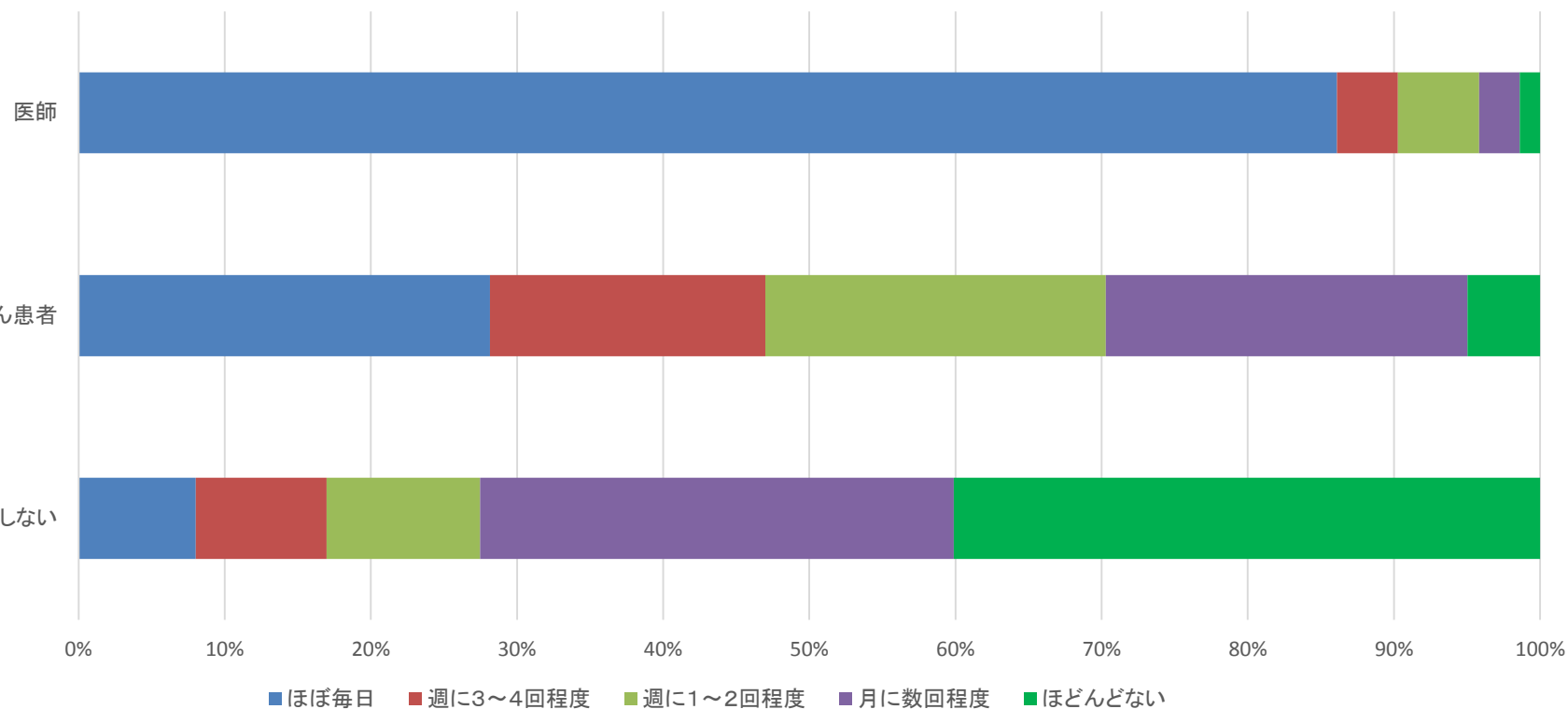
Q5.あなたの立場として当てはまるものを全て選んでください。（複数選択可）



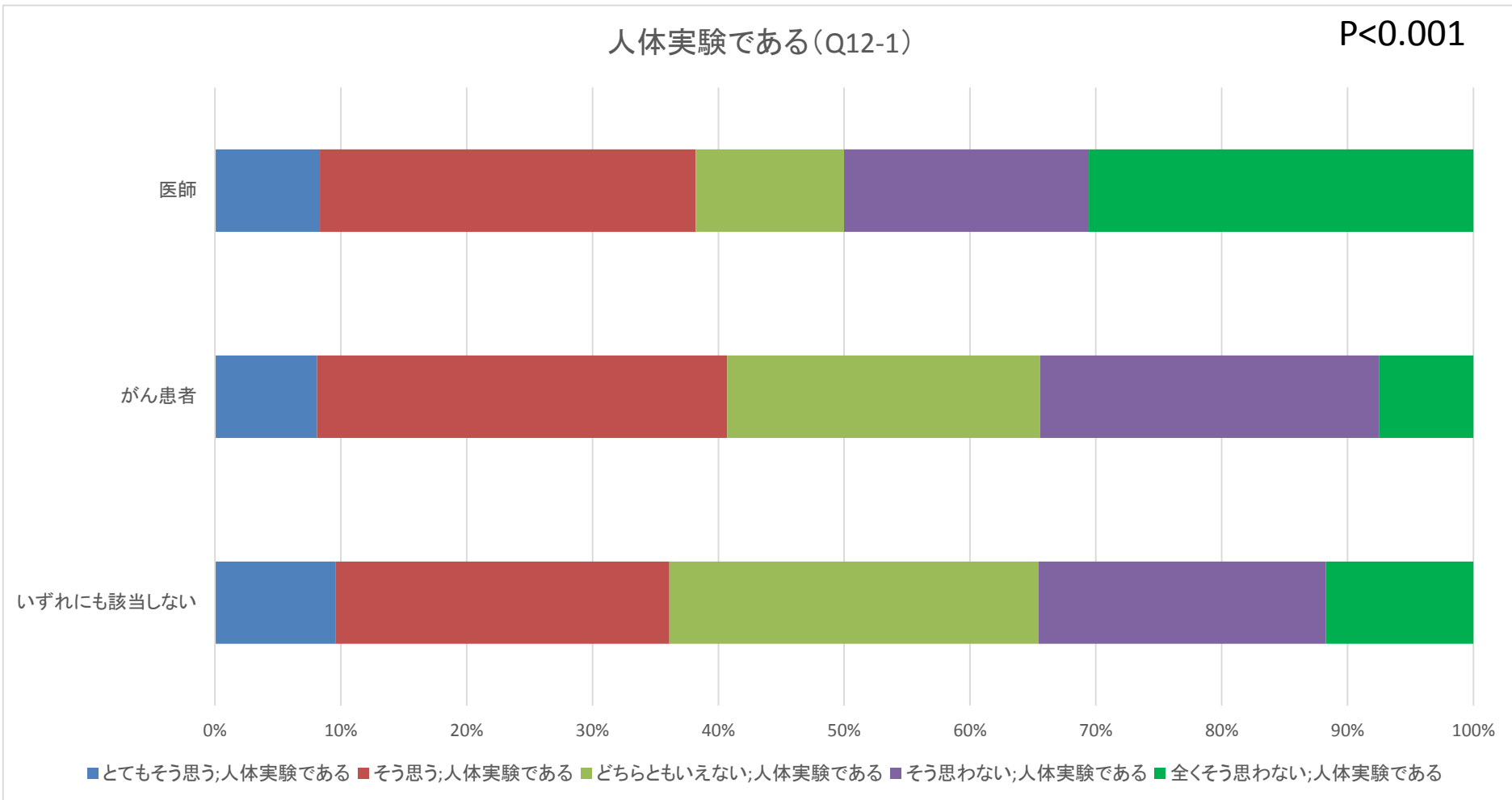
Q11.あなたは普段「がんに関する情報」をどのくらいの間隔でご覧になられていますか。

がんに関する情報(Q11)

P<0.001



Q12-1.がんの臨床試験（治験）についてあなたのイメージを教えてください。 =人体実験である=

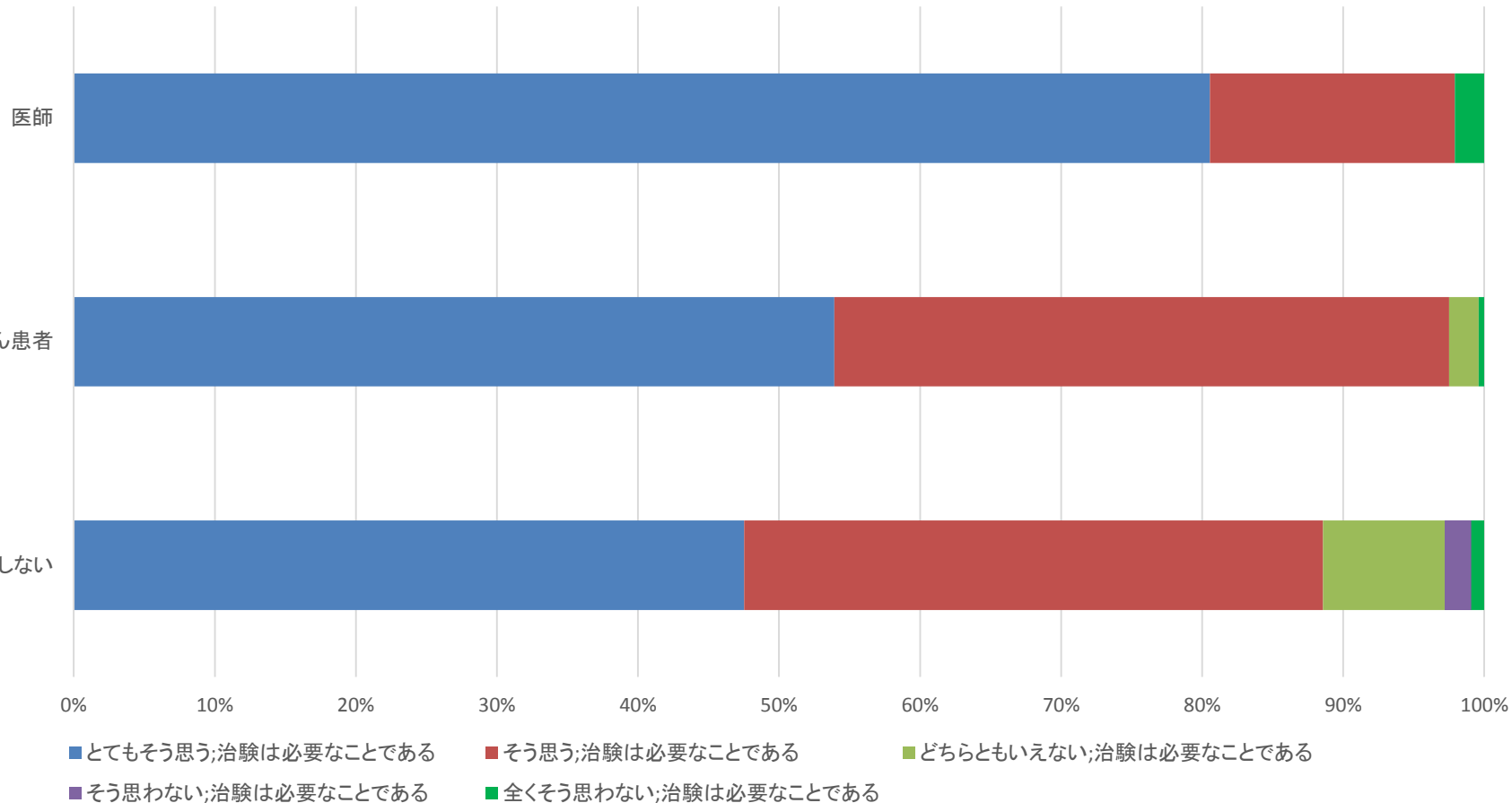


Q12-2.がんの臨床試験（治験）についてあなたのイメージを教えてください。

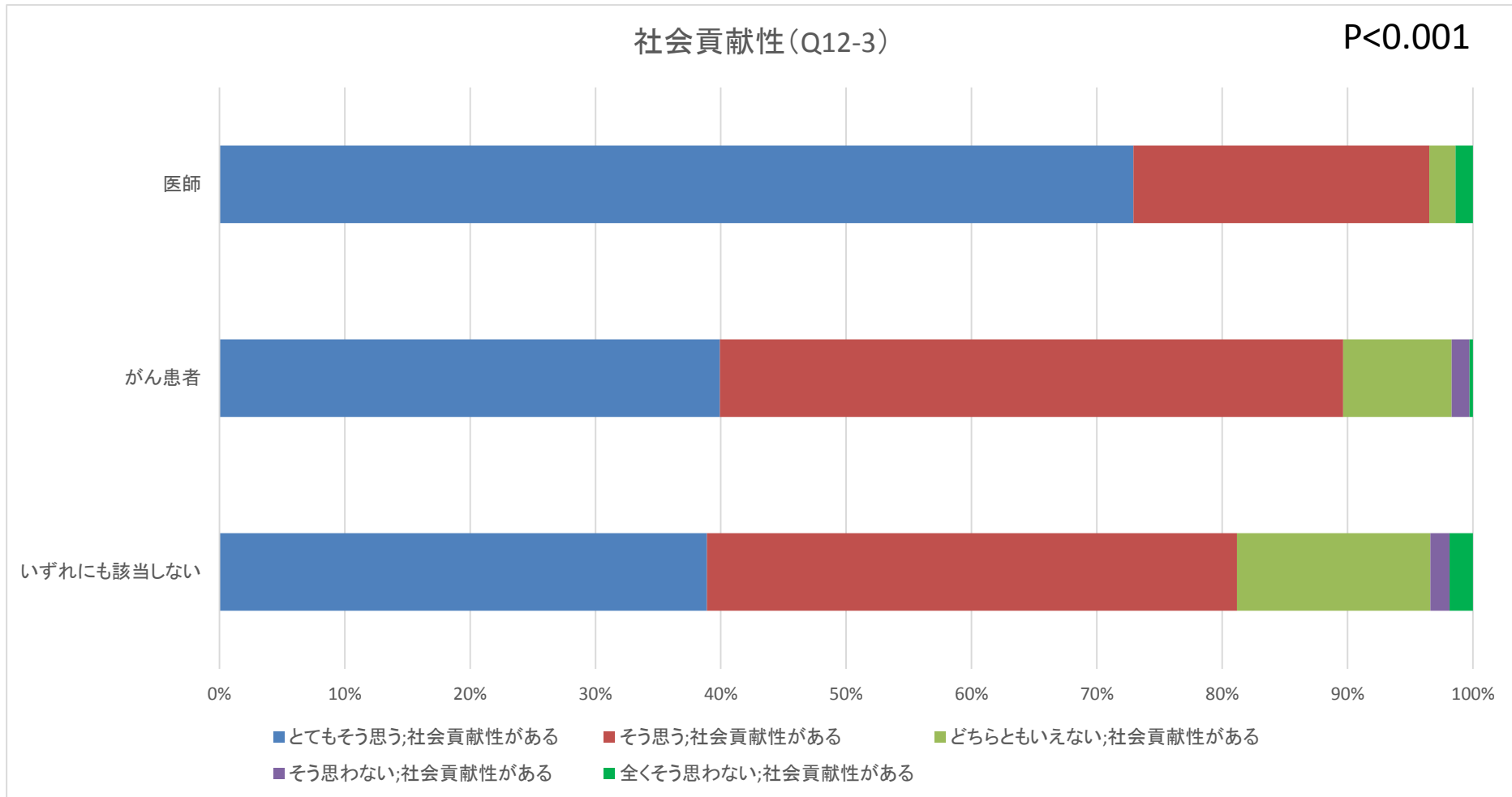
=治験は必要なことである=

治験は必要(Q12-2)

P<0.001

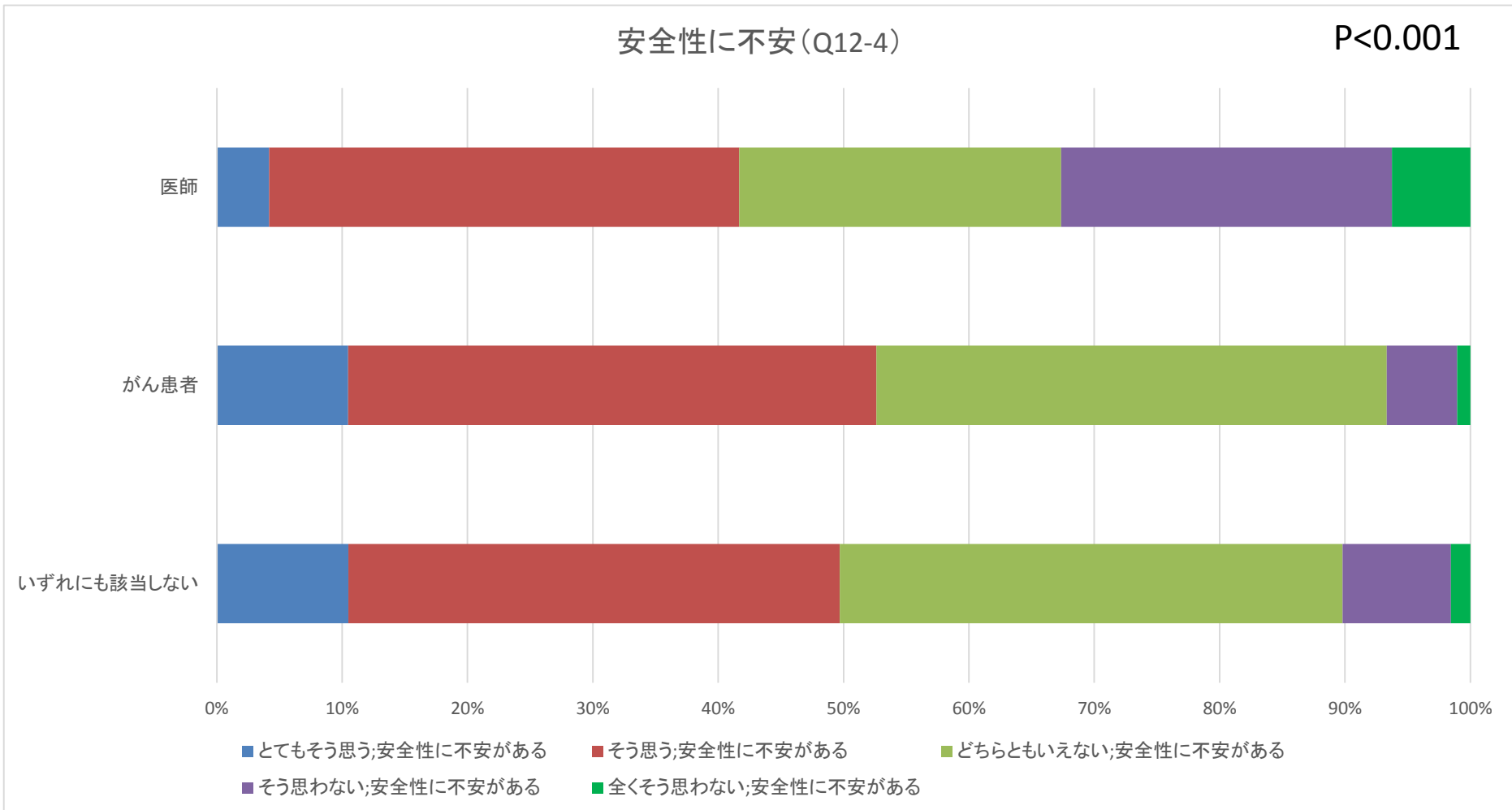


Q12-3.がんの臨床試験（治験）についてあなたのイメージを教えてください。 =社会貢献性がある=

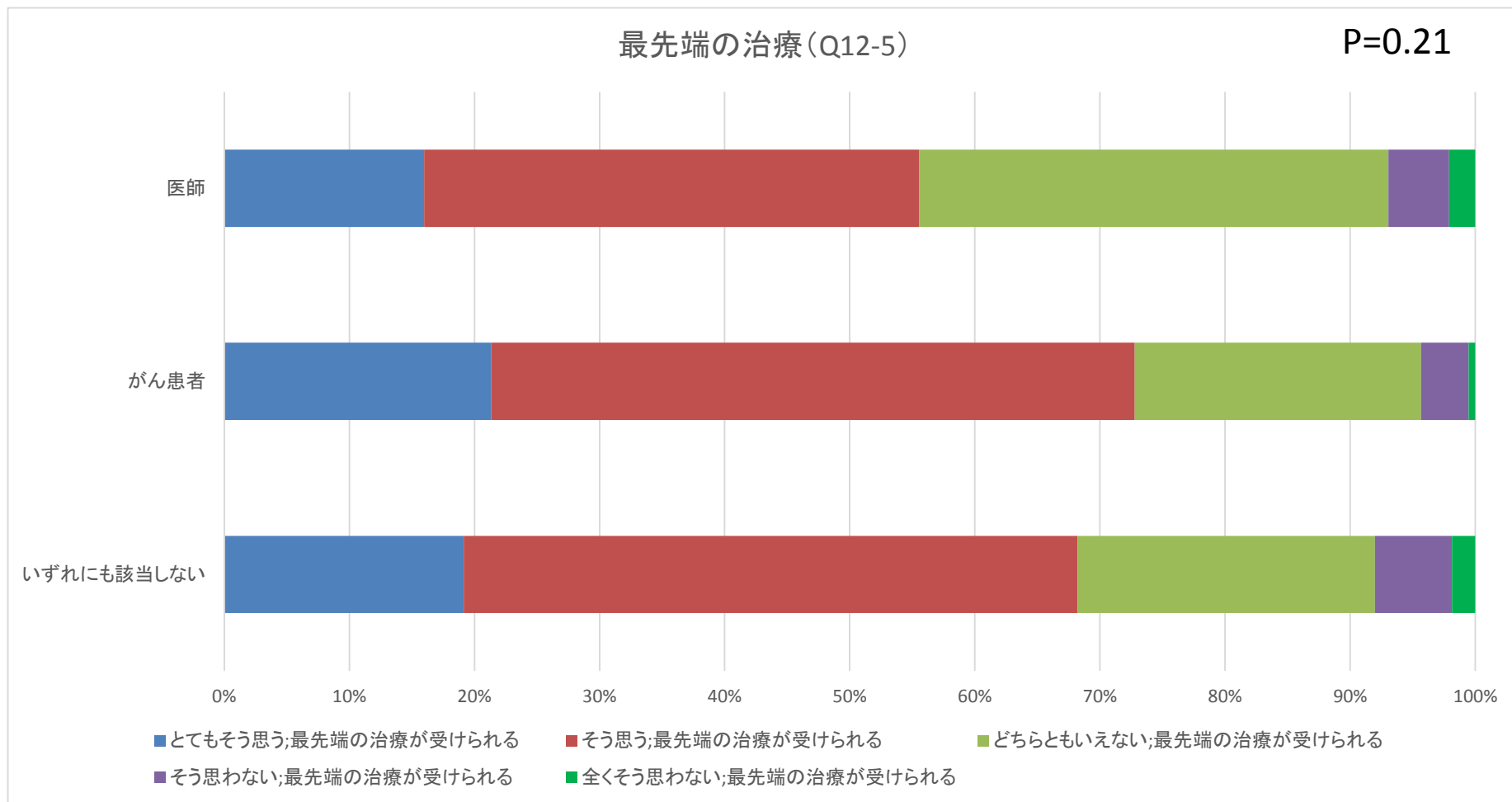


Q12-4.がんの臨床試験（治験）についてあなたのイメージを教えてください。

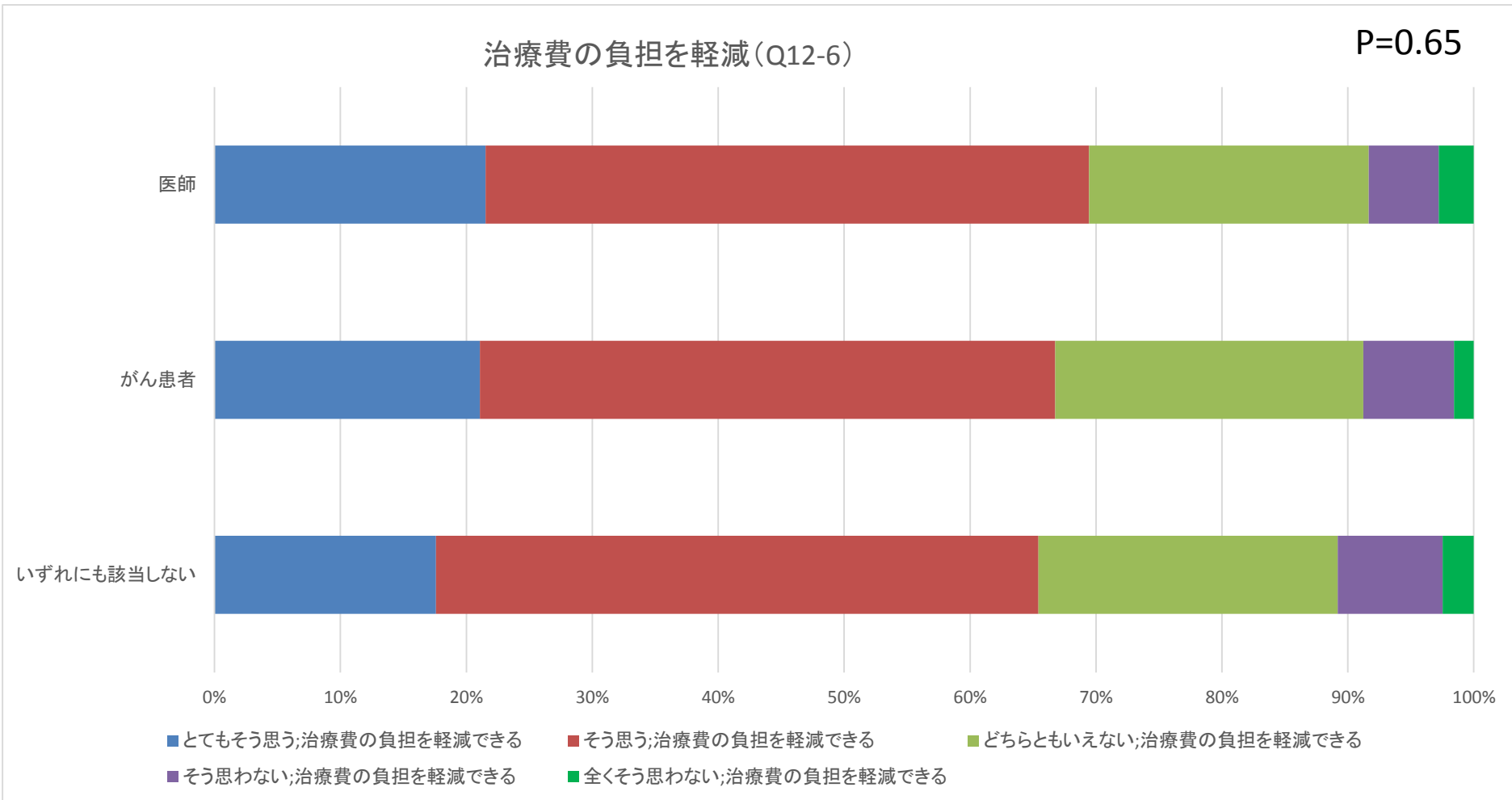
=安全性に不安がある=



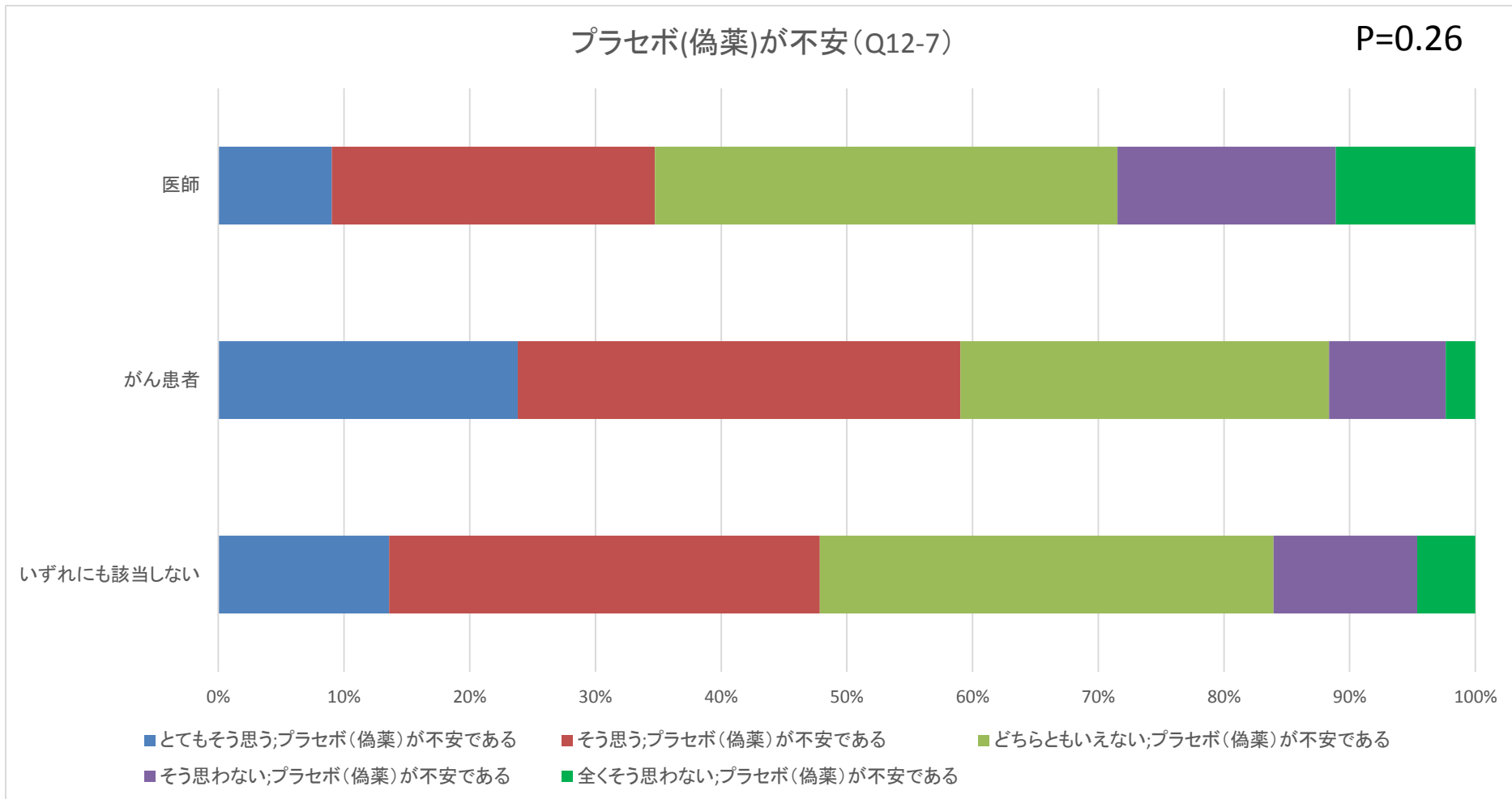
Q12-5.がんの臨床試験（治験）についてあなたのイメージを教えてください。 =最先端の治療が受けられる=



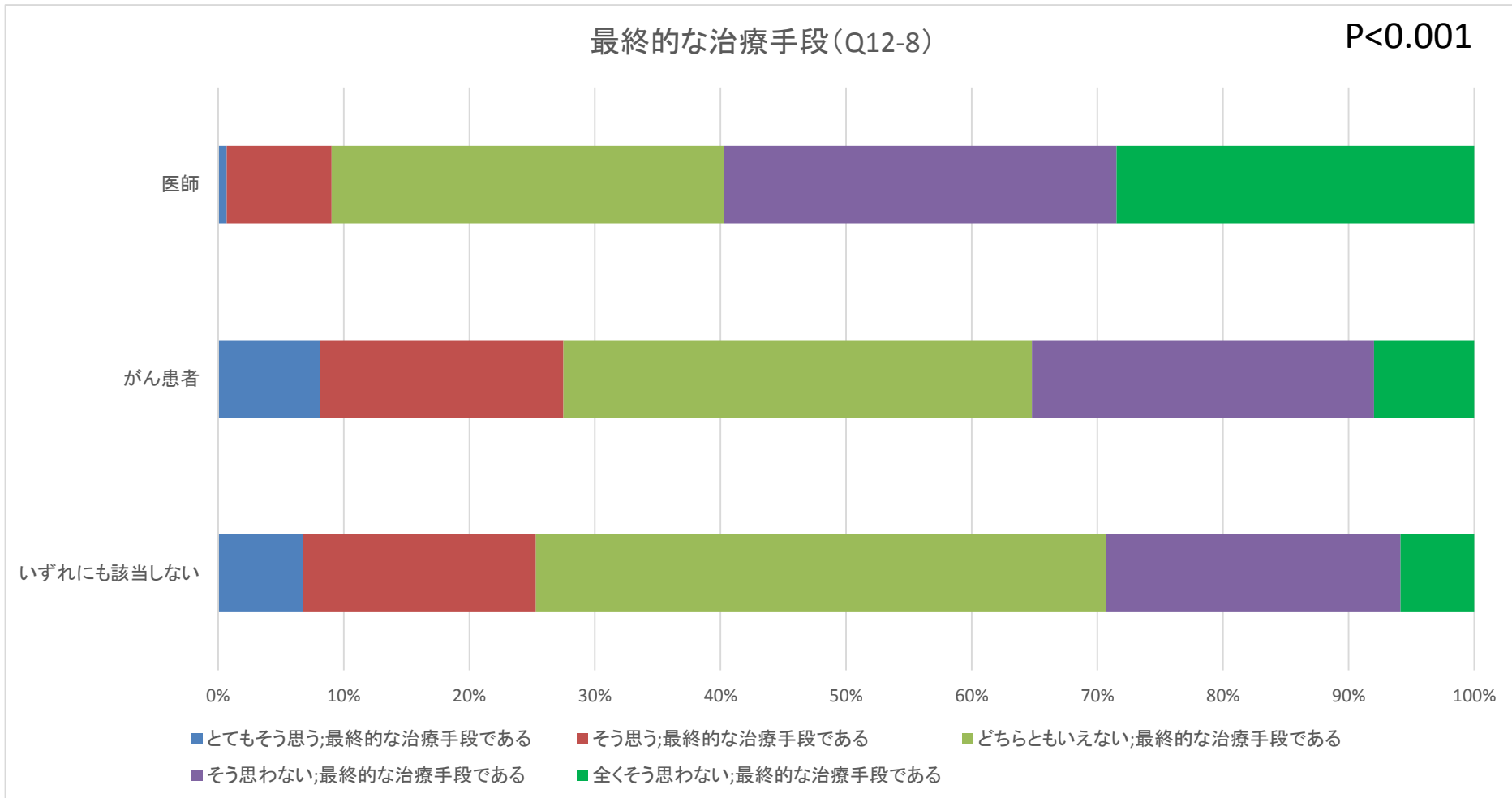
Q12-6.がんの臨床試験（治験）についてあなたのイメージを教えてください。 ＝治療費の負担を軽減できる＝



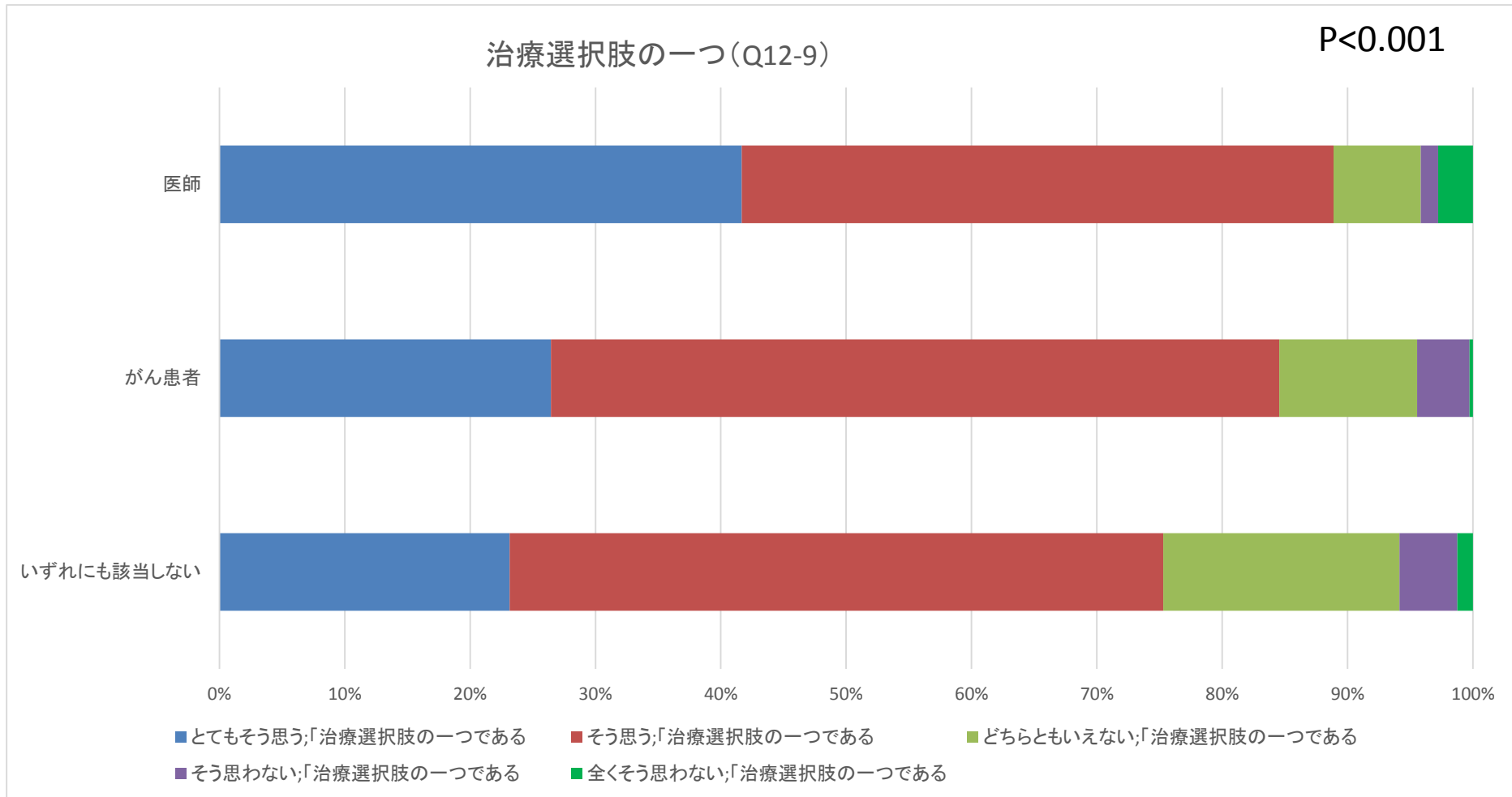
Q12-7.がんの臨床試験（治験）についてあなたのイメージを教えてください。 ＝プラセボ(偽薬)が不安である＝



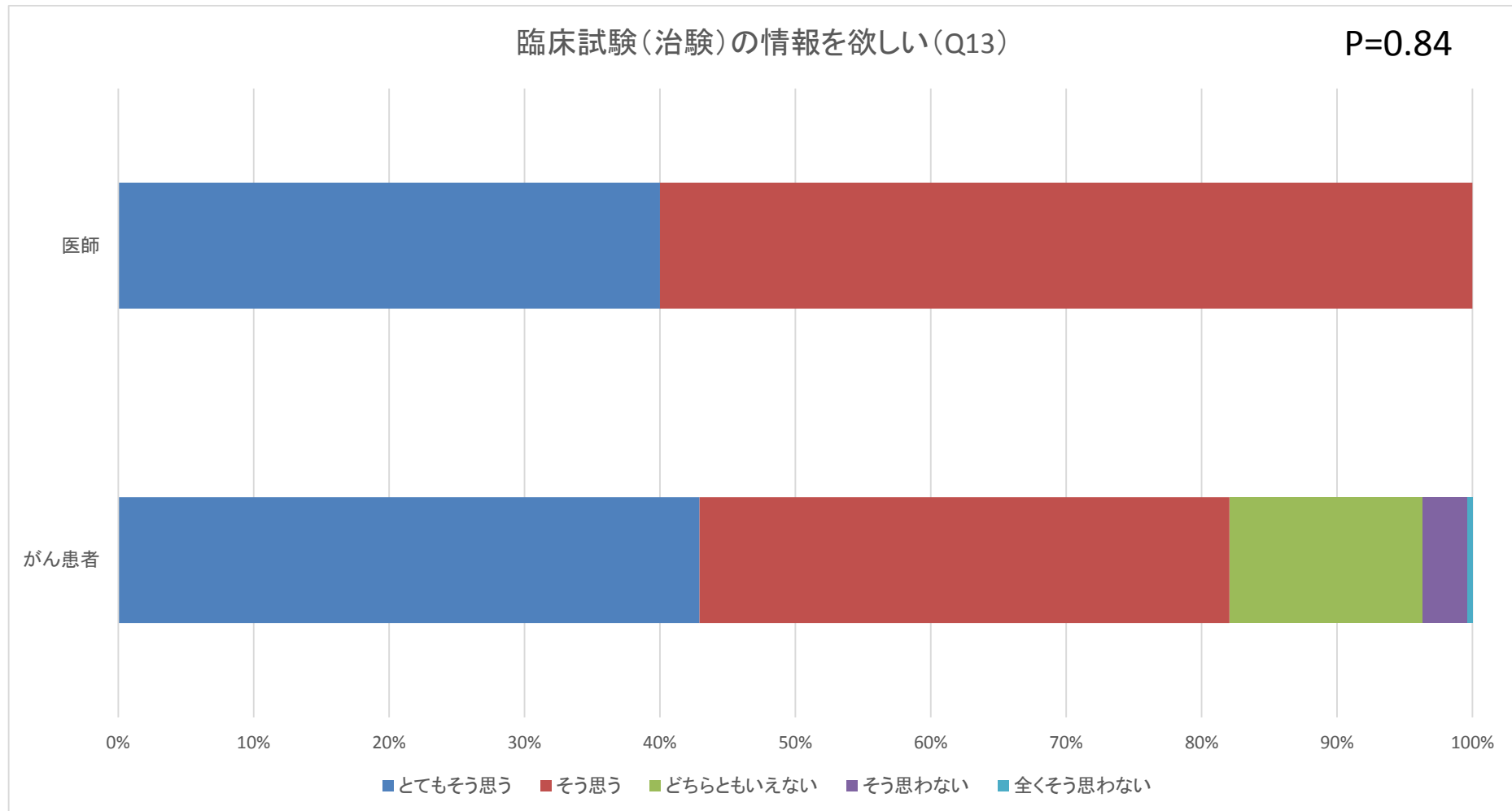
Q12-8.がんの臨床試験（治験）についてあなたのイメージを教えてください。 =最終的な治療手段である=



Q12-9.がんの臨床試験（治験）についてあなたのイメージを教えてください。 ＝治療選択肢の一つである＝



Q13.あなたはがんの臨床試験（治験）の情報 報を欲しいと思いますか。

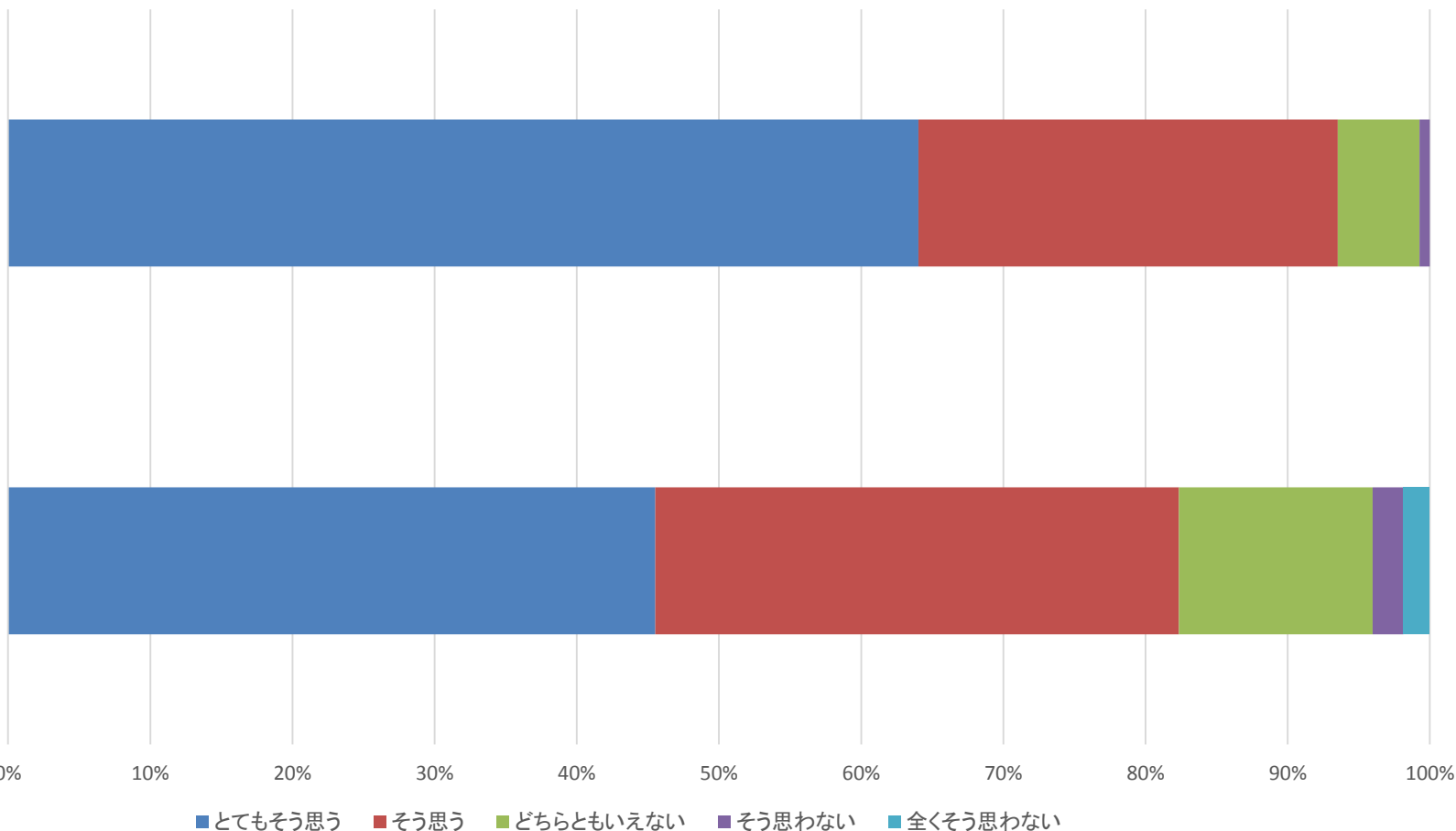


Q15. あなた自身ががんに罹患した場合、臨床試験（治験）の情報を欲しいと思いますか。

がんに罹患した場合、臨床試験（治験）の情報を欲しい（Q15）

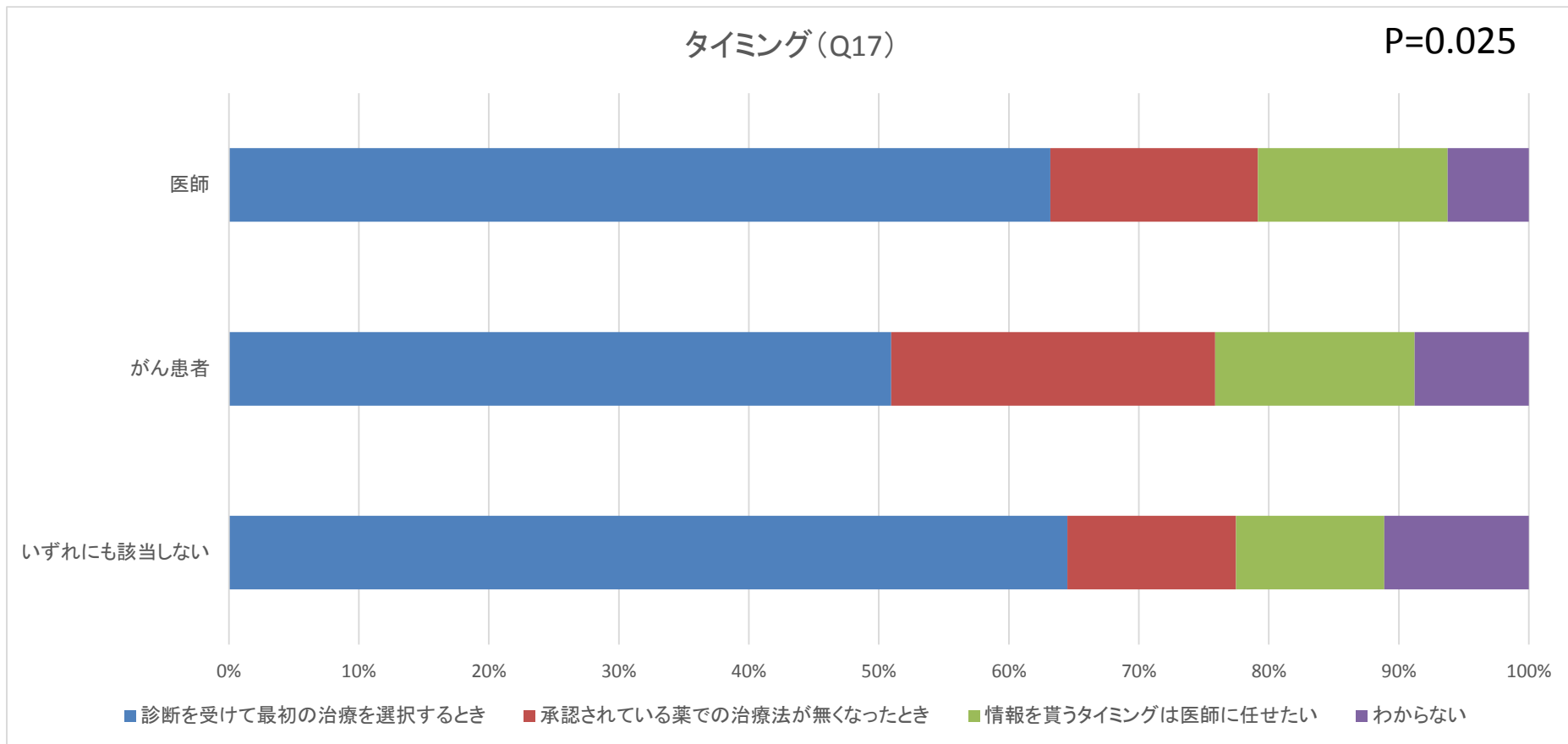
P=0.002

医師



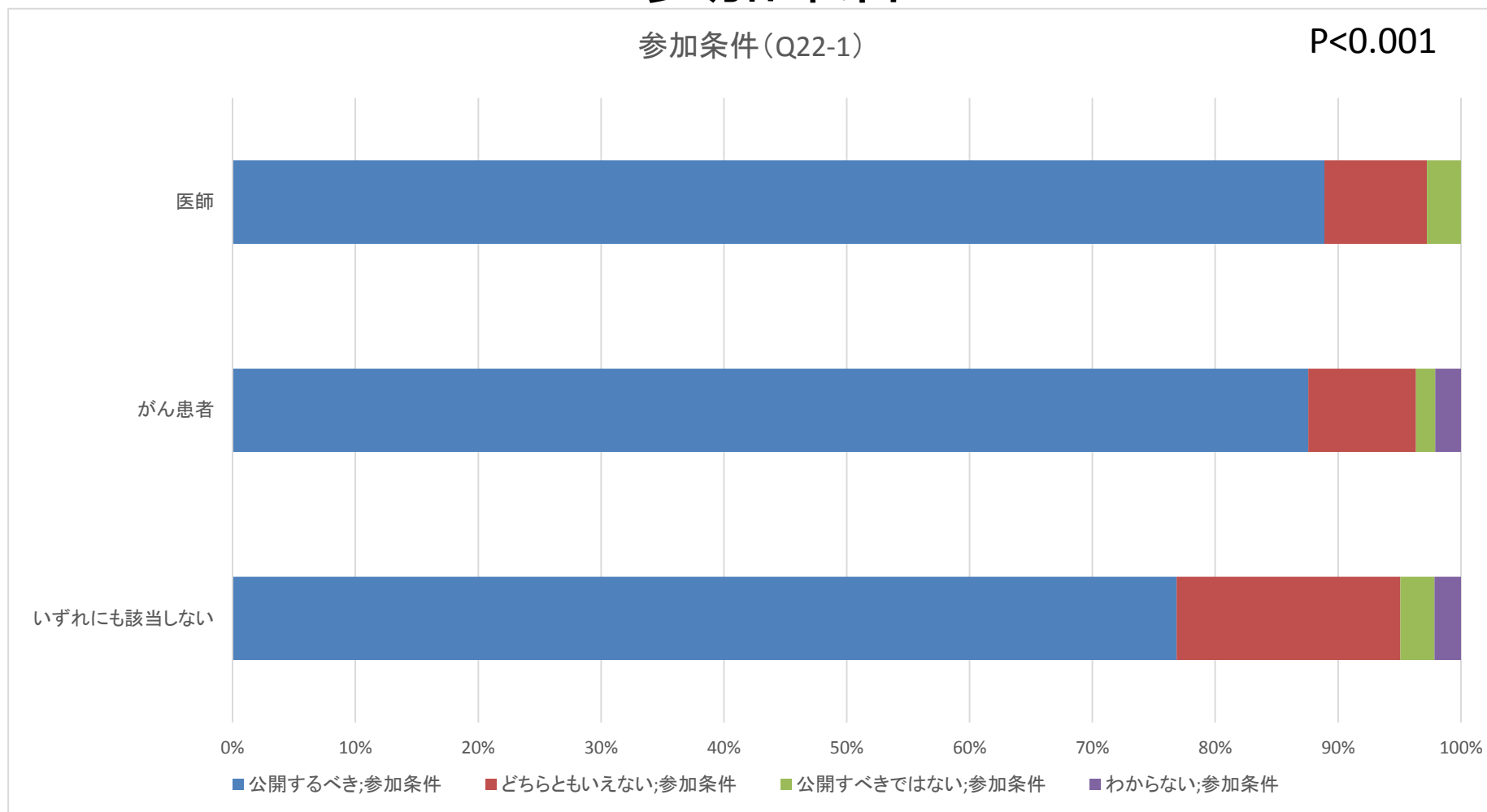
いずれにも該当しない

Q17.がんの臨床試験（治験）情報はどのタイミングで欲しいですか。



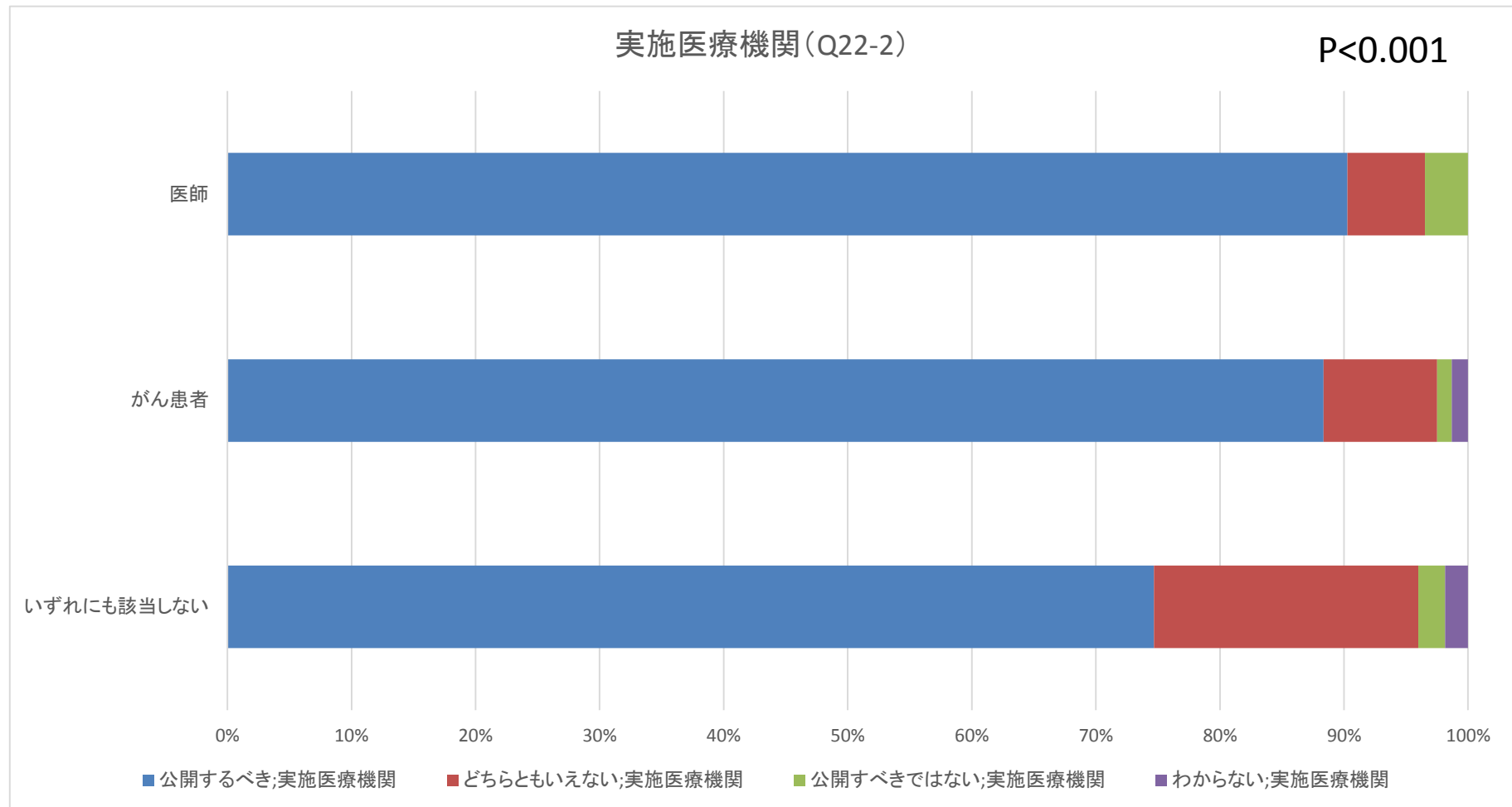
Q22-1.臨床試験（治験）に関する情報で広く一般的に公開するべきかについてあなたの考えを教えてください。

=参加条件=

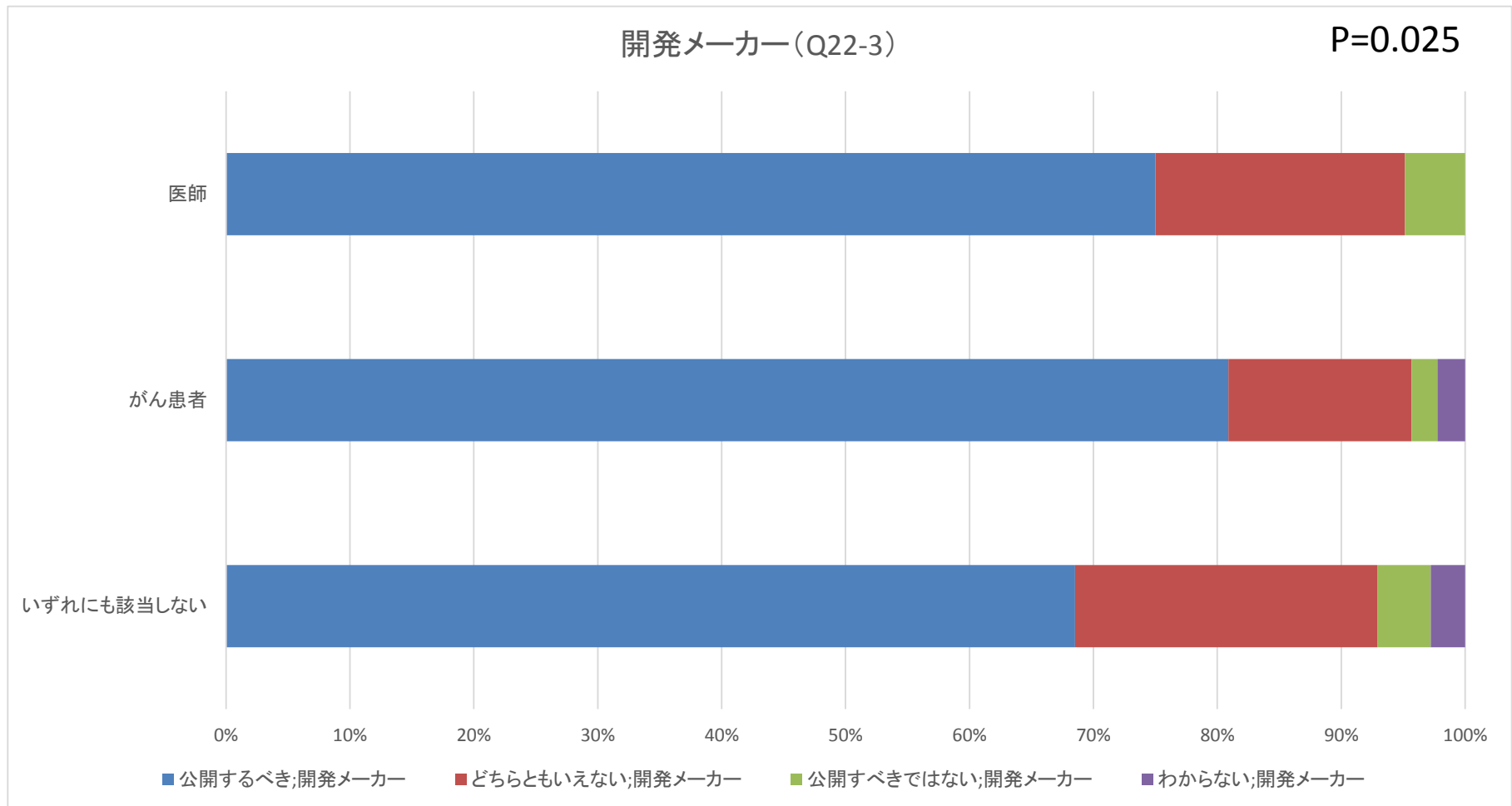


Q22-2.臨床試験（治験）に関する情報で広く一般的に公開するべきかについてあなたの考えを教えてください。

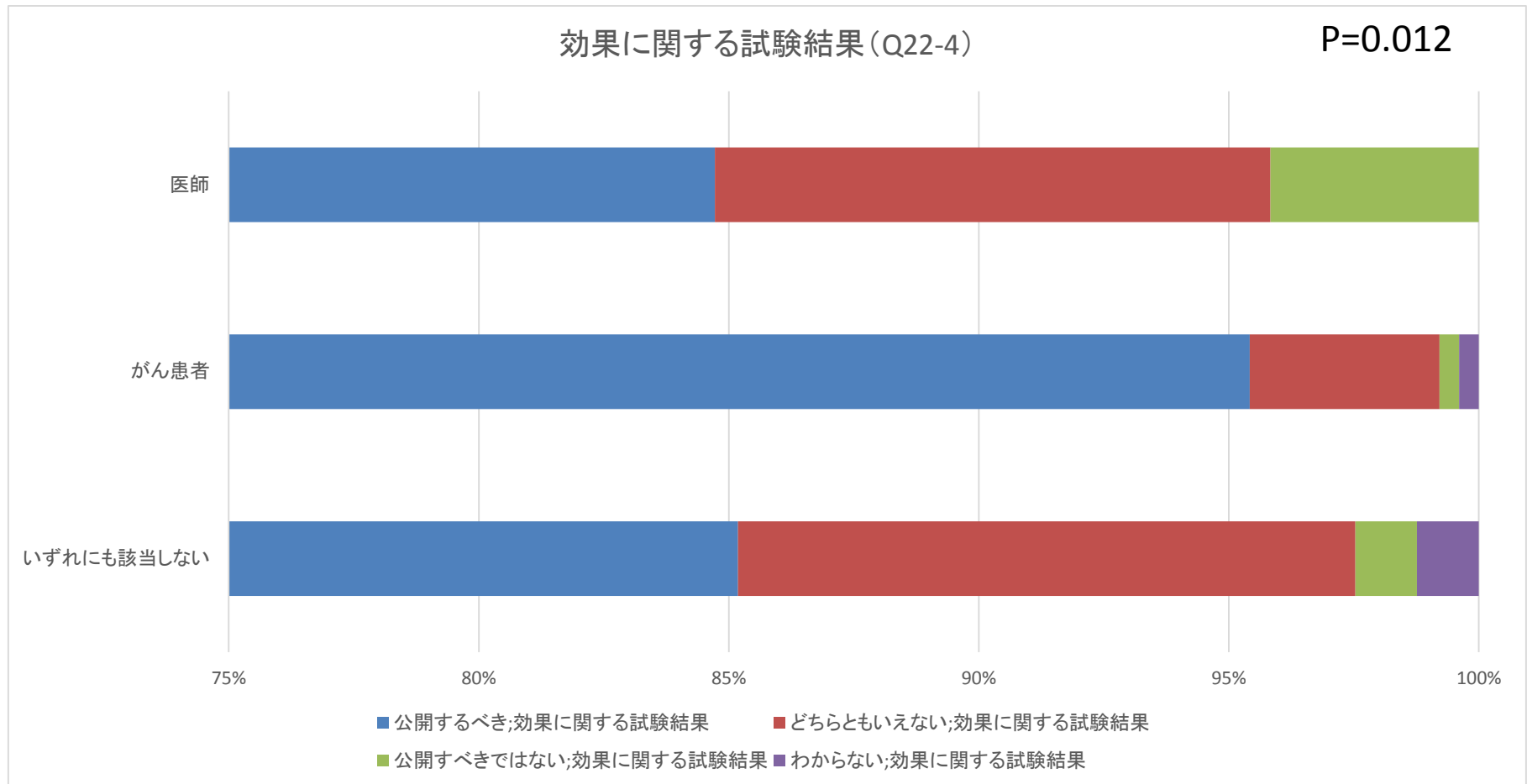
=実施医療機関=



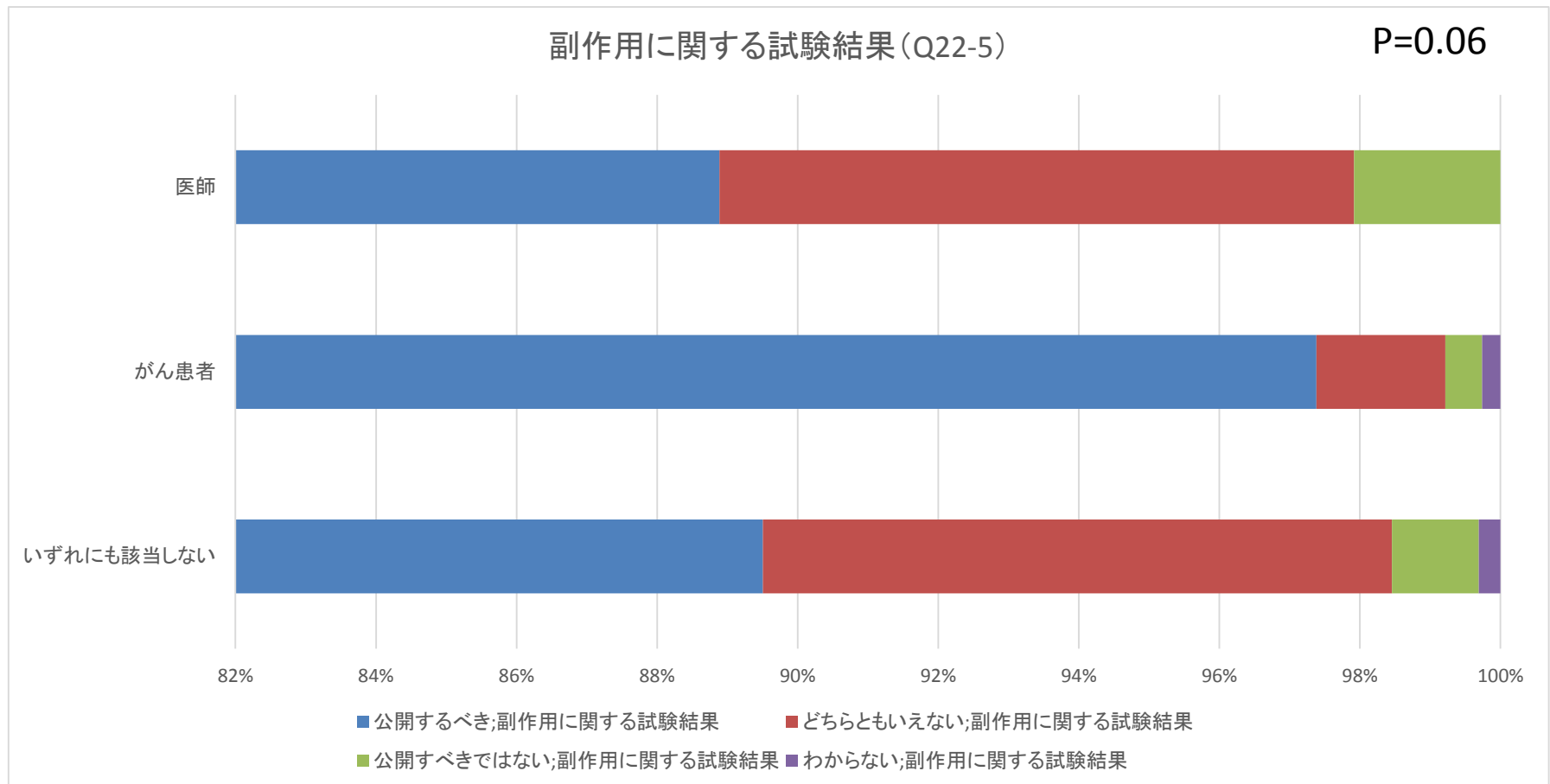
Q22-3.臨床試験（治験）に関する情報で広く一般的に公開するべきかについてあなたの考えを教えてください。 ＝開発メーカー＝



Q22-4.臨床試験（治験）に関する情報で広く一般的に公開するべきかについてあなたの考えを教えてください。 =効果に関する試験結果=

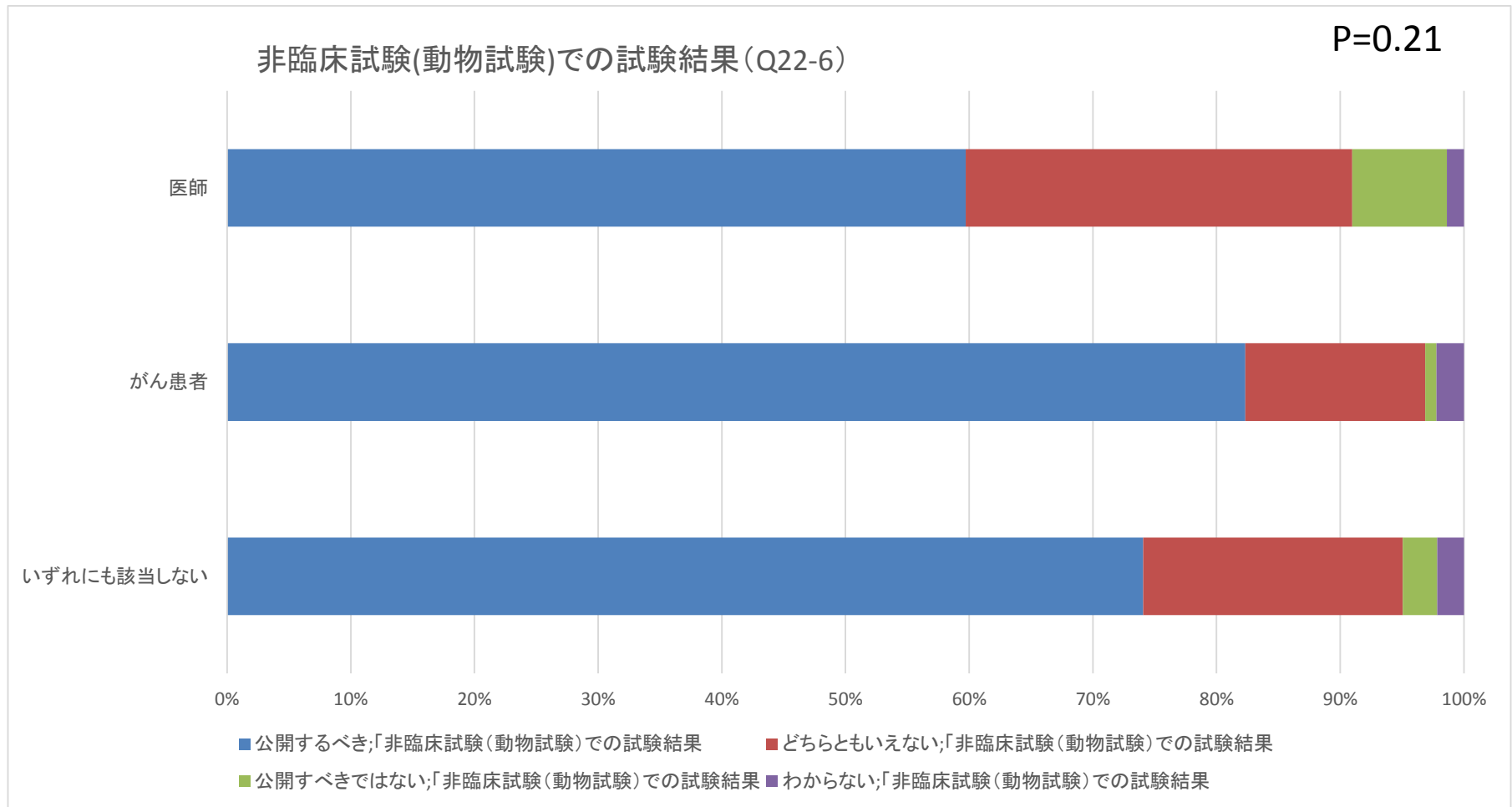


Q22-5.臨床試験（治験）に関する情報で広く一般的に公開するべきかについてあなたの考えを教えてください。 ＝副作用に関する試験結果＝

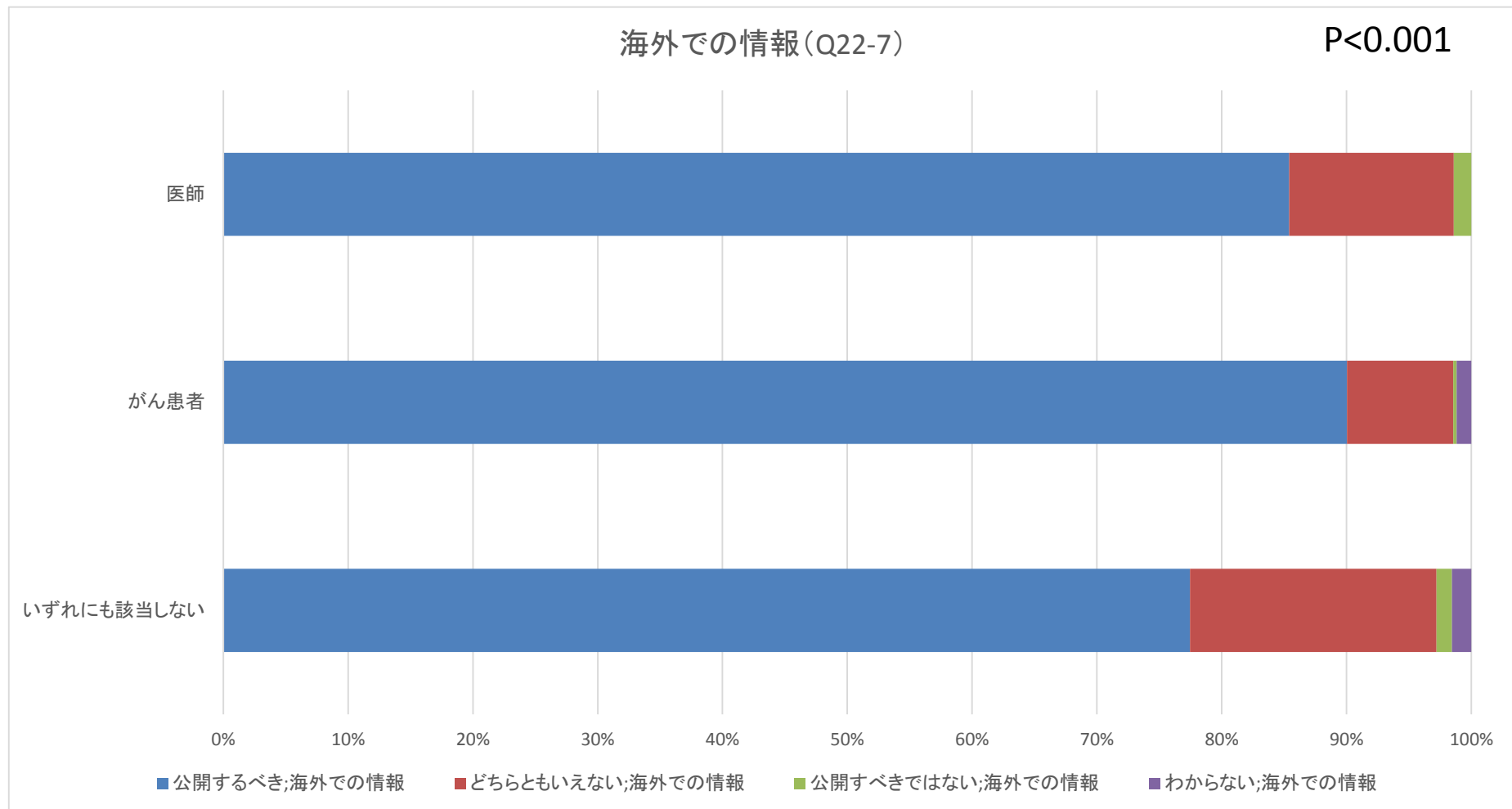


Q22-6.臨床試験（治験）に関する情報で広く一般的に公開するべきかについてあなたの考えを教えてください。

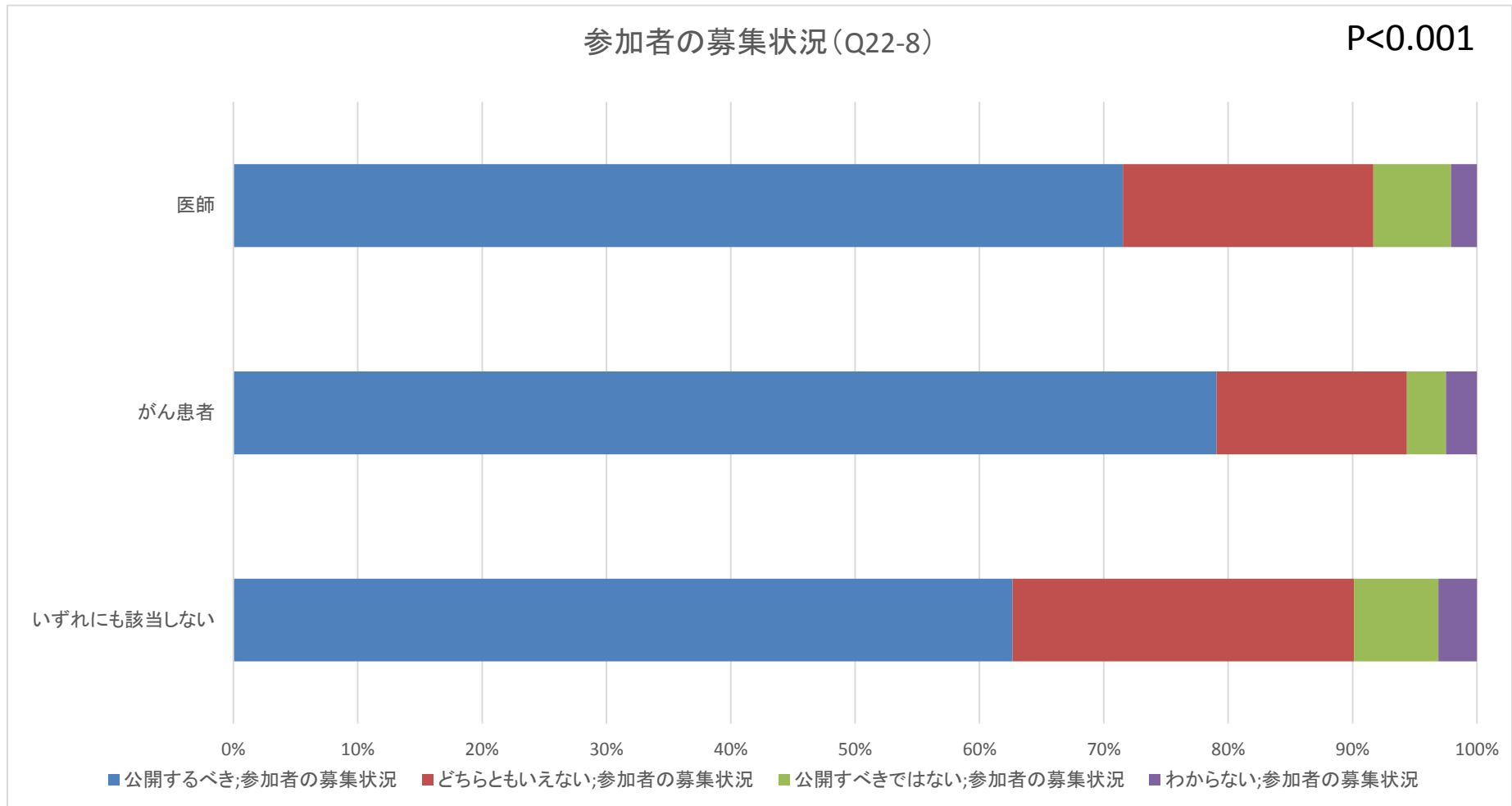
=非臨床試験(動物試験)での試験結果=



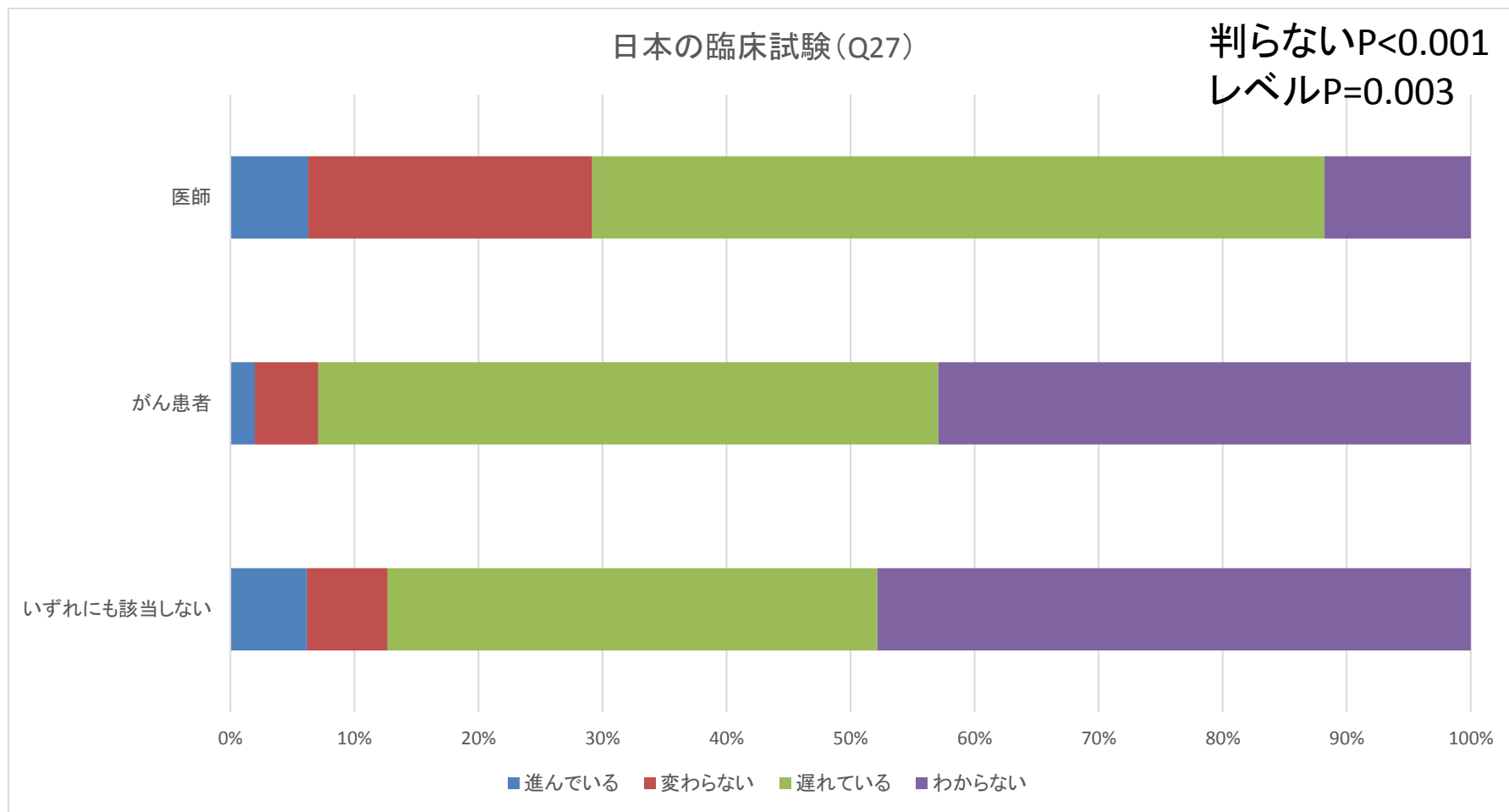
Q22-7.臨床試験（治験）に関する情報で広く一般的に公開するべきかについてあなたの考えを教えてください。 ＝海外での情報＝



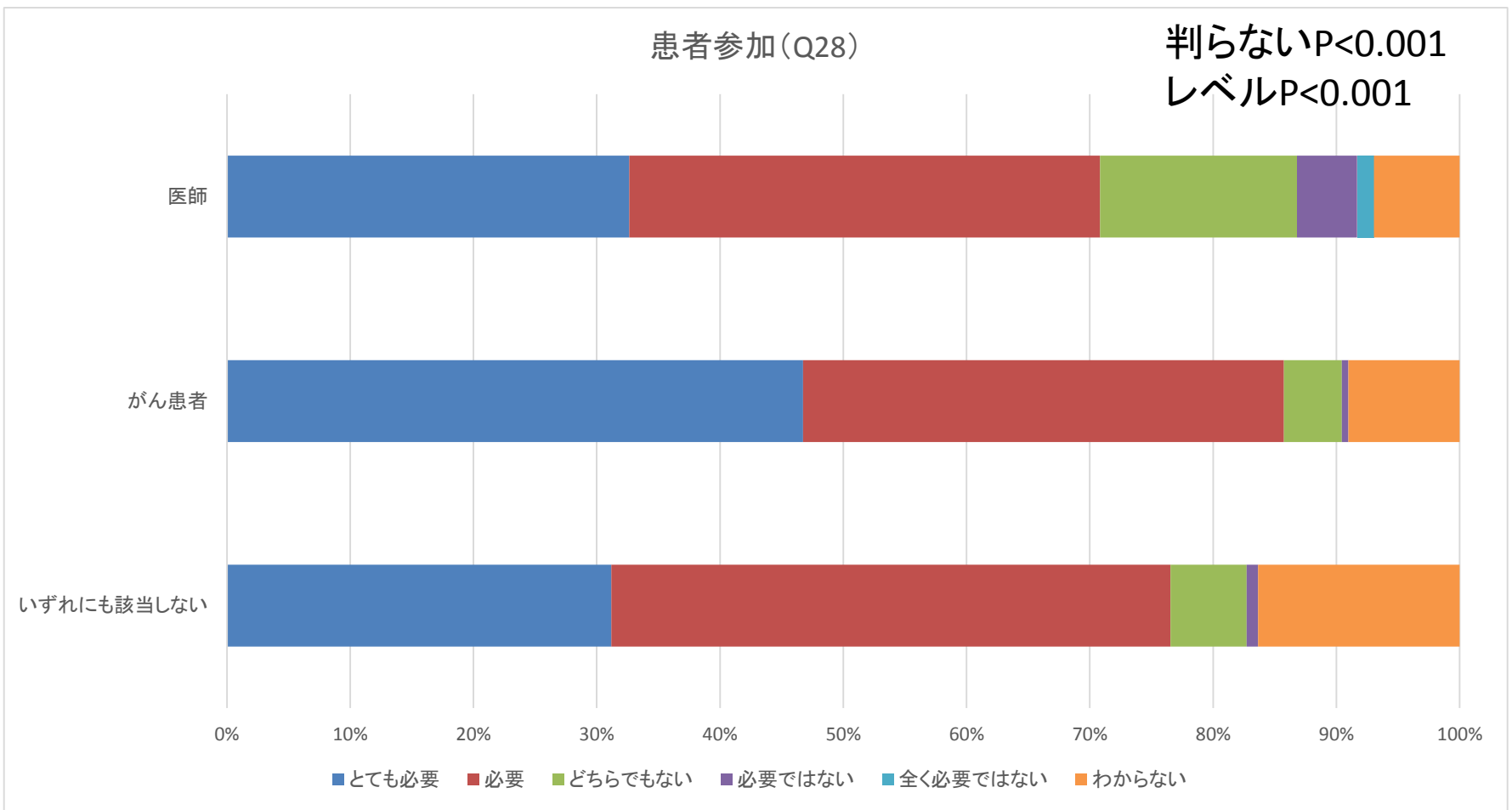
Q22-8.臨床試験（治験）に関する情報で広く一般的に公開するべきかについてあなたの考えを教えてください。 =参加者の募集状況=



Q27.臨床試験（治験）に関する情報で広く一般的に公開するべきかについてあなたの考え現在の日本の臨床試験（治験）は世界的に見て進んでいると思いますか。



Q28.海外では臨床試験（治験）の実施計画や試験の評価において患者が参加する試みがなされています。日本でもそのような患者参加の取り組みは必要だと思いますか。



THREE IMPORTANT FACTS.

Three Important Facts

- ①医師・患者・一般いずれの立場においても、がんに対する臨床試験・治験に関する情報を知りたいニーズ（がんに対する臨床試験（治験）の情報を欲しいと思う）が高い
- ② 医師・患者においてがんに対する臨床試験（治験）の情報公開の必要性の認識が高い
- ③がんの臨床試験（治験）への患者参画（臨床試験（治験）の実施計画やその評価）に対して、医師、患者におけるその必要性の認識が高い